

**4年生・大学院生・卒業生諸君！ 1次試験、お疲れさまでした。**

1次試験の合格発表が来ました。合格して2次試験に向けて面接等の準備を続けている人、残念ながら不合格になって来年に向けた準備を始めた人など様々でしょう。前者の皆さんは体調に気を付けるとともに、面接で自分のよさが出るよう、これまで1か月間行ってきた面接練習の評価票と面接中の自分を映した動画を改めて見直してください。そして、最終合格まで気を緩めることなく頑張ってください。後者の皆さんは、どうして不合格になったのか、試験結果を開示してもらい、十分に分析しておくことが大切です。そうしないと、何回受験しても同じ結果になってしまいます。論文の復元答案を見る限り、ほぼ全員が合格ラインに達していました。しかし、専門教養、教職教養、一般教養などの筆記試験で苦戦したと聞いています。今年を受験生は、本当によく頑張っていました。それなのに残念な結果だとしたら、合格に向けた対策は筆記試験の点数を上げるしかありません。私から見て、今年を受験生には間違いなく教員の資質や適性があります。しかし、教員になるためには、どうしても教員採用試験に合格しなければなりません。この壁を越えた向こうに皆さんの夢があります。全ての公立学校教員が超えてきたこの壁を是非皆さんも乗り越えてください。大いに期待しています。

**3年生・2年生・1年生諸君！**

教員志望の皆さん、教員採用試験の合否のカギは「筆記試験」です。論文と面接は、私が指導しますが、筆記試験はどうしても皆さん自身で準備しなければなりません。そのため、準備を始める時期が早ければ早いほど合格しやすくなります。遅くとも3年生の8月には準備を始めてください。問題集や参考書は3回やらないと合格しません。本番は7月7日頃です。4年生から始めたのでは間に合いません。また、4年生になるとゼミなどで忙しくなり、論文や筆記試験の準備をする時間を確保するのが大変です。2年生、1年生から始めれば、それだけ合格しやすくなりますよ。5月に実施した論文講習には20人が参加しましたが、その後個別添削に来たのは、わずか3人です。他の人は大丈夫なのではないでしょうか。不合格にならないように頑張りましょう！全力で応援しますよ。

**(1) [1次試験結果] 21人中17人合格！ (19自治体) 合格率81.0%**

**(2) [実施した行事]**

- 1 「論文個別添削」 2次試験向けに継続中 8月6日現在288枚
- 2 「個人面接練習」 7月2日(月)～20日(金)全15回 参加者延36人
- 3 「集団討論練習」 7月23日、24日、27日(金)全5回 参加者延28人
- 4 「2次試験対策模擬面接」 7月30日(月)、31日(火)全7回 参加者実数16人

**(3) [これから実施する行事]**

- 1 「学校見学会及び研究協議(直前面接練習)」 初実施 1次試験合格者対象 参加予定者14人  
8月14日(火) 12:30～17:00 [会場: 都立広尾高校] (12:10 JR恵比寿駅西口改札集合)
- 2 「3・2・1年生向 夏季集中教育法規講習」 ★全4回 (全回参加が望ましい) 追加募集中  
8月27日(月) 時程 ①13:20～15:00 ②15:10～16:50 [会場: 東館2階Eゼミ4 (変更)]  
8月28日(火) 時程 ③13:20～15:00 ④15:10～16:50 [会場: 東館2階Eゼミ4 (変更)]
- 3 「3・2・1年生向 夏季集中学習指導要領講習」 ★全2回 (全回参加が望ましい) 追加募集中  
8月31日(金) 時程 ①13:20～15:00 ②15:10～16:50 [会場: 東館2階Eゼミ4 (変更)]

## 「教員採用試験の準備を計画的に進めていますか？」

私は、ここ数年間指導していて、大学生にはいろいろなタイプがあることに気がきました。「教員志望ではないけど、親が教員免許くらいは取っておけ」というので教職課程を選んだ「教員も悪くないけど、景気がよくなっているので、一般企業の就活も同時に進めたい」「教員志望だけど、自分は私立高校の出身なので、それほど公立学校の教員にこだわっていない」「公立学校の出身なので、何が何でも公立学校の教員になりたい」「大学院に行ってから教員採用試験を受験しようと思っている」「教員採用試験を受験するけど、何とかなるんじゃないか」などです。どんなタイプでも構いませんが、公立学校の教員採用試験を受験しようとするならば是非とも合格してほしいです。そのためには、教員採用試験まで準備を計画的に進めることが不可欠です。根拠のない自信は、合格発表の時に一気に吹っ飛びます。結局、一日一日を無駄にせず、コツコツと準備をした人が最終合格を勝ち取れます。では、いつ勉強するか？ 今でしょ！

### 《日程表を作成》

何事も計画のないところに成功はありません。今すぐ準備を始めるといっても、何をどう始めるのかが分からなければ、どんどん時間が過ぎて行ってしまいます。皆さんには、別途スケジュールのデータを送りました。必要事項を記入し、自分なりのスケジュールを作ってください。もちろん、その通りに準備を進めなければ意味がありませんよ。

### 《筆記試験準備について》

#### (1) 専門教養 (数学・理科 等)

求められる学力は大学受験レベルですが、センター試験のように短時間で回答することが求められます。そのため、自分にとって易しいと思える問題から解き始めて1点でも多く稼ぐことが大切です。出題傾向は自治体によってまちまちなので、過去問で調べてください。特に、附属高校から入学した人や指定校推薦で入学した人は大学受験で数学や理科の試験を受けていないので、専門教養の学力不足になる傾向が多いようです。その分、早めに準備を始めてください。一般受験で大学に入学した人も4年前のことなので、だいぶ鈍っている場合があります。大学受験で使用した参考書などを持ち出してきてください。専門教養対策として、相談室に青チャート「数学Ⅰ・A」「数学Ⅱ・B」「数学Ⅲ」を配置しました。活用してください。理科についても近々参考書をそろえる予定です。自分の専門とはいえ、この科目で満点をねらうのは難しいです。80%以上の正解を目指しましょう。

法政大学生諸君の全員合格を期待しています！

#### (2) 教職教養 (教育法規・教育心理・教育原理・教育史・学習指導要領・教育時事 等)

これは、皆さんが苦手としている部分でしょう。大学の授業を聞いただけでは対応できません。参考書など自分自身で勉強する必要があります。勉強の仕方は大きく3つあります。①まず参考書で勉強し、身に付いたかどうかを問題集で確認する方法 ②初めから1冊の問題集に取り組み、できなかったところを何度も何度も解き直しながら身に付けていく方法 ③教員採用試験向けの雑誌(2社)の中の問題集や解説を中心に勉強を進める方法です。自分に合っていればどれでも構いませんが、大切なことは一度始めたらその方法を最後まで貫き通すことです。どんな方法であれ、最終的に教職に関する知識を身に付けていなければなりません。その範囲は膨大です。今から計画的に処理していきましょう。相談室としては、教職教養の中でも皆さんが最も不得意な「教育法規」の講習を8月27日と28日に、「学習指導要領」の講習を8月31日に行います。奮って参加してください。相談室には雑誌や参考書、問題集を数種類前えてあります。見に来てください。

#### (3) 一般教養 (国・社・数・理・英・芸・保体)

これは、範囲が広すぎて、いくら勉強しても十分ということがありません。だからといって初めから「勉強しない」と決めてしまうのは不合格を覚悟することと同じです。中学・高校の定期考査レベルですから、準備をしておきましょう。まずは、その自治体が設置している高校の入試問題の過去問を解いてください。例えば、埼玉県を受験する人は、県立高校入試の過去問を解くのです。高校入試も教員採用試験も同じ自治体が問題を作っています。入試問題も採用試験問題も自治体が求める人間像に関する受験者へのメッセージという点では同じです。その後、自治体ごとの採用試験の過去問を解いて対応してください。過去問と同じ問題は出ませんが、過去問を解くことで出題傾向が見えてきます。

#### (4) 論文

埼玉県や茨城県、山梨県などのように論文が2次試験にある自治体や、神奈川県のように1次試験の時に論文を書かせるのに筆記試験に合格した人しか論文を採点しないという県もあります。いずれにしても論文対策は早めにしないと間に合わなくなります。私の論文指導は、どんな問題が出てでも合格できるようにしています。これまでの経験から、大体10回以上添削を受けると自分の合格論文の型が決まってきます。20回以上書くと、どんな問題にも対応できるようになります。是非とも20回以上添削を受けるようにしてください。今年は、一人で32回書いた人がいました。

★このように、来年教員採用試験を受験する人は、今から準備を始めることが合格のカギとなります。相談室は、全力で皆さんを応援します。論文添削はメールで24時間受け付けています。頑張ってください！